

車くるま座ざ しまなみ トーク!

大三島を日本でいちばん住みたい島にするプロジェクト2015

車座しまなみトーク!夏の会

報告書

平成27年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

2015年7月3日と4日の2日間、大三島ふるさと憩の家にて「車座しまなみトーク!夏の会」が開催されました。7月3日には「大三島の魅力を語ろう」、7月4日は「大三島の食の恵みを語ろう」のトークセッションに続き、高知を拠点に活躍するデザイナー、梅原真さんが「絶体絶命のデザイン」をテーマに講演。会場に並べられた座布団が全部埋まるほどの熱気の中、登壇者と会場の参加者の皆さんによる活発な意見交換が行われました。



車座になってざっくばらんに意見交換

実行委員会より

大三島を日本でいちばん住みたい島にするプロジェクト実行委員会です。私たちは、2012年から「伊東建築塾」として今治市伊東豊雄建築ミュージアムが建つ大三島で合宿を行っています。島を訪れるたび、風景の美しさや穏やかな気候、人びとの生き方に惹かれるようになり、自主的に島に通いはじめました。はじめは島での暮らしを描いた絵本を制作したり、島の高校生たちと一緒に大山祇神社参道の歴史を調べて展示したり、徐々に活動は本格化し、2014年からは参道の空き家を改修して、人びとが集まる場所づくりに取り組んでいます。このような活動を通して、観光で島を楽しむこと以上に「都会での生活とは違う、島でしかできない暮らしをしてみたい」と想い、またそのプロセスを島に住む人と一緒に手を組んでつくっていければと考え、実行委員会を立ち上げました。その第一弾として、お互いの自己紹介も兼ねた「車座しまなみトーク!夏の会」を2015年7月3日と4日の2日間に渡って大三島ふるさと憩の家で開催しました。そのレポートをフリーディスカッションでMCを務めていただいた、デザイン編集者の関康子さんをお願いしました。



今治市伊東豊雄建築ミュージアムでの夏合宿



改修中の「大三島みんなの家」(旧法務局)



車座しまなみトーク!夏の会の様子



島内外の人が語り合う車座しまなみトーク!